

企業の出勤状況に対するアンケート調査について(2023年度年間まとめ)

■企業の出勤状況調査の実施概要

目的：時差Biz登録企業等の出勤状況を定期的に調査し、取組の実施状況等の傾向を把握する。

調査対象：スムーズBiz・時差Biz登録企業、2020TDM推進PJ登録企業（約57,000社）

+過去に実施したアンケートへの回答企業等

調査方法：WEBアンケート（最大10問程度）

調査期間：2022年4月から2023年3月まで（概ね四半期ごと）

・各調査項目

5月（調査期間：6/1～6/12） 第1回n=1,640

Q1: 5月の取り組み内容

Q2: 2023年2月からの取組規模の変化

Q3: テレワークと時差出勤について

Q4: 従業員の出勤割合

Q5: 従業員の出勤時刻

Q6: テレワーク、時差出勤の取組規模

Q7: 今後の出勤に対する取組

Q8: どのような取組を拡大、縮小するか、またその理由

9月（調査期間：9/14～9/26） 第2回n=1,621

Q1: 8月の取り組み内容

Q2: 2023年5月からの取組規模の変化

Q3: テレワークと時差出勤について

Q4: 従業員の出勤割合

Q5: 従業員の出勤時刻

Q6, Q7: スムーズBizPR動画・オフピーク通勤の新ポスター

Q8, Q9: 活用している通勤方法・混雑具合（鉄道利用者）

Q10: 物流の効率化について

1月（調査期間：1/9～1/26） 第3回n=1,362

Q1: 12月の取り組み内容

Q2: 2023年8月からの取組規模の変化

Q3: テレワークと時差出勤について

Q4: 従業員の出勤割合

Q5: 従業員の出勤時刻

Q6, Q7: 活用している通勤方法・混雑具合（鉄道利用者）

Q8~Q10: 乗車時間と着席までの時間

3月（調査期間：3/1～3/15） 第4回n=1,209

Q1: 2月の取り組み内容

Q2: 2023年12月からの取組規模の変化

Q3: テレワークと時差出勤について

Q4: 従業員の出勤割合

Q5: 従業員の出勤時刻

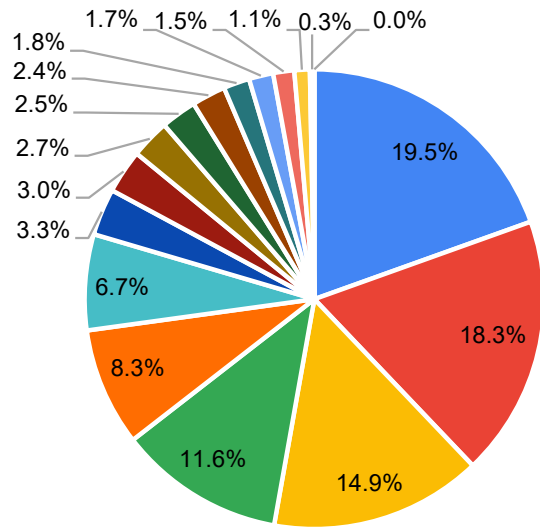
Q6, Q7: スムーズBizPR動画・オフピーク通勤の新ポスター

Q8, Q9: 活用している通勤方法・混雑具合（鉄道利用者）

*赤字は各回に共通する設問

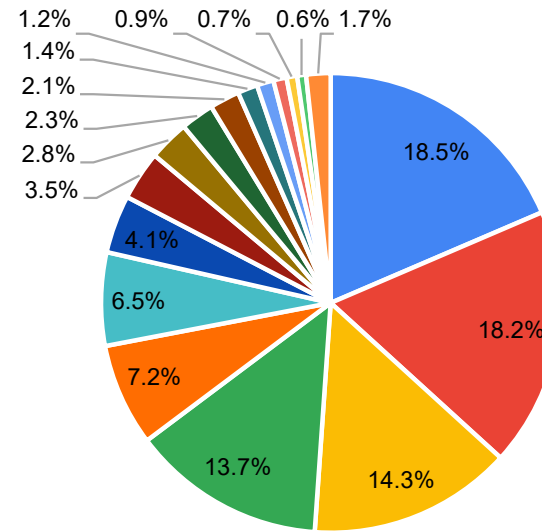
回答者属性

■回答企業のプロフィール (業種)



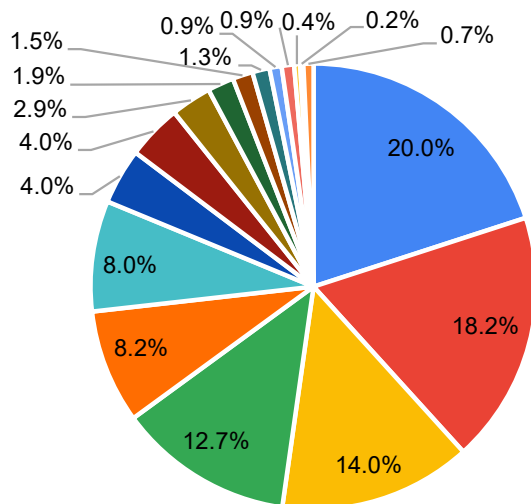
●第一回調査(5月)
調査期間 6/1~6/12

- 情報通信業
 - サービス業 (他に分類されないもの)
 - 卸売業・小売業
 - 製造業
 - 学術研究・専門技術サービス業
 - 建設業
 - 医療・福祉
 - 不動産業・物品賃貸業
 - 教育・学習支援業
 - 分類不能の産業
 - 運輸業・郵便業
 - 生活関連サービス業・娯楽業
 - 金融業・保険業
 - 複合サービス業
 - 宿泊業・飲食サービス業
 - 電気・ガス・熱供給・水道業
 - 分類不能の産業
- n=1,640



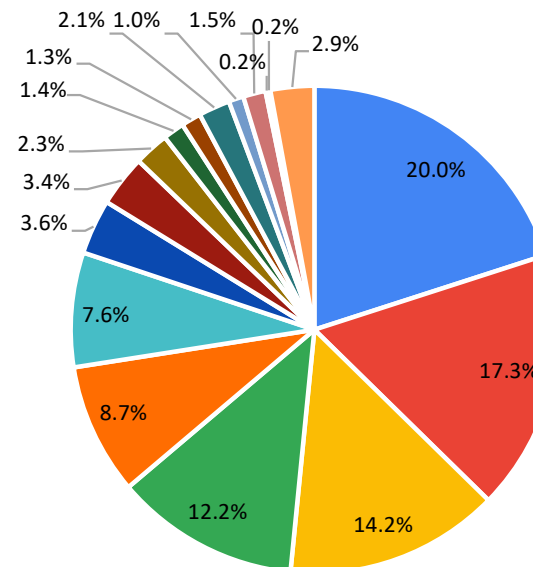
●第二回調査(9月)
調査期間 10/21~11/27

- サービス業 (他に分類されないもの)
 - 情報通信業
 - 卸売業・小売業
 - 製造業
 - 学術研究・専門技術サービス業
 - 建設業
 - 医療・福祉
 - 不動産業・物品賃貸業
 - 運輸業・郵便業
 - 金融業・保険業
 - 教育・学習支援業
 - 宿泊業・飲食サービス業
 - 生活関連サービス業・娯楽業
 - 複合サービス業
 - 電気・ガス・熱供給・水道業
 - 公務 (他に分類されるものを除く)
 - 分類不能の産業
- n=1,493



●第三回調査(1月)
調査期間 1/9~1/26

- 情報通信業
 - サービス業 (他に分類されないもの)
 - 卸売業・小売業
 - 製造業
 - 学術研究・専門技術サービス業
 - 建設業
 - 医療・福祉
 - 不動産業・物品賃貸業
 - 運輸業・郵便業
 - 金融業・保険業
 - 教育・学習支援業
 - 生活関連サービス業・娯楽業
 - 宿泊業・飲食サービス業
 - 複合サービス業
 - 公務 (他に分類されるものを除く)
 - 電気・ガス・熱供給・水道業
 - 分類不能の産業
- n=1,434

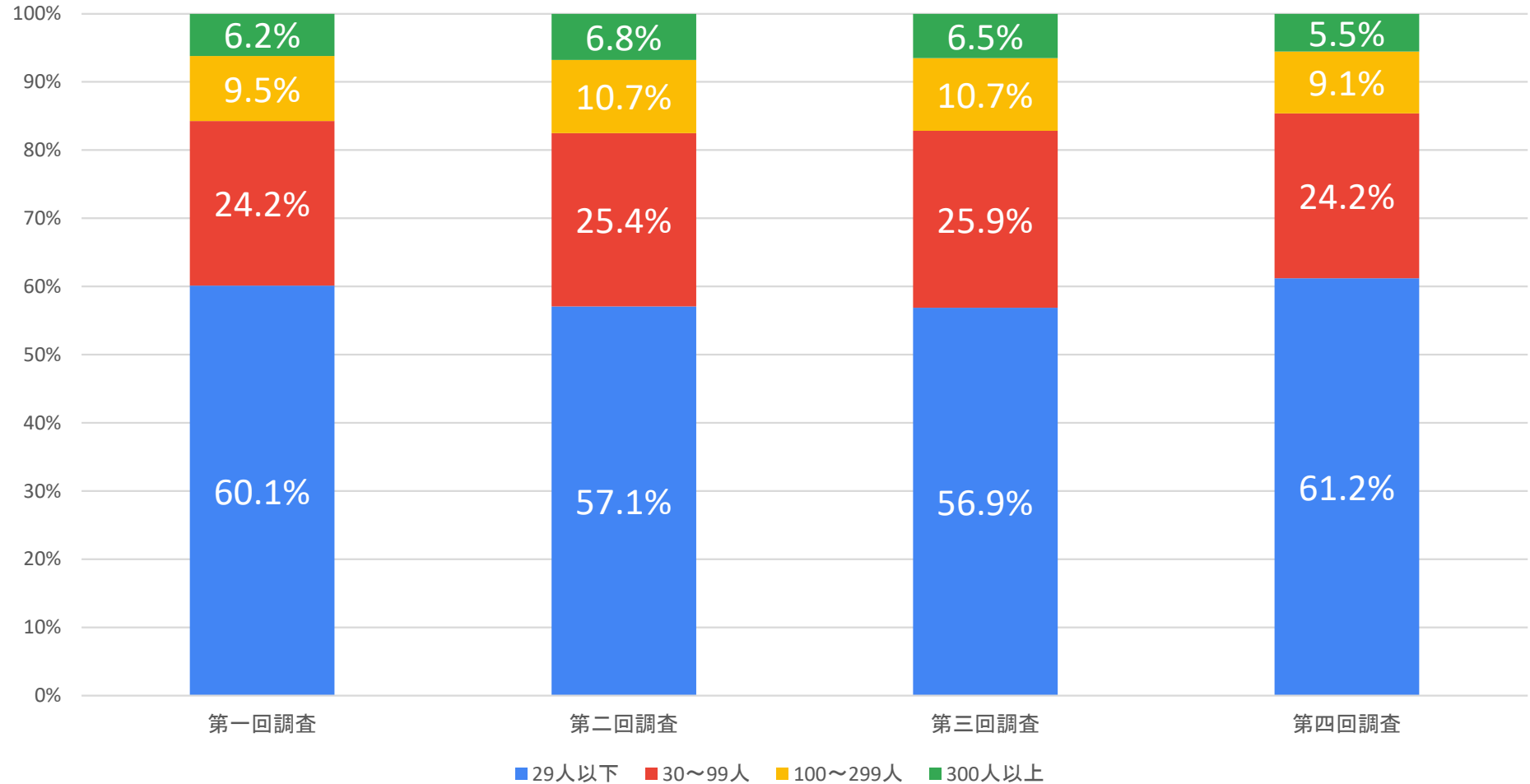


●第四回調査(3月)
調査期間 3/1~3/15

- 情報通信業
- サービス業 (他に分類されないもの)
- 卸売業・小売業
- 製造業
- 学術研究・専門技術サービス業
- 建設業
- 医療・福祉
- 不動産業・物品賃貸業
- 運輸業・郵便業
- 金融業・保険業
- 教育・学習支援業
- 生活関連サービス業・娯楽業
- 宿泊業・飲食サービス業
- 複合サービス業
- 公務 (他に分類されるものを除く)
- 電気・ガス・熱供給・水道業
- 分類不能の産業

回答者属性

■回答企業のプロフィール（企業規模）

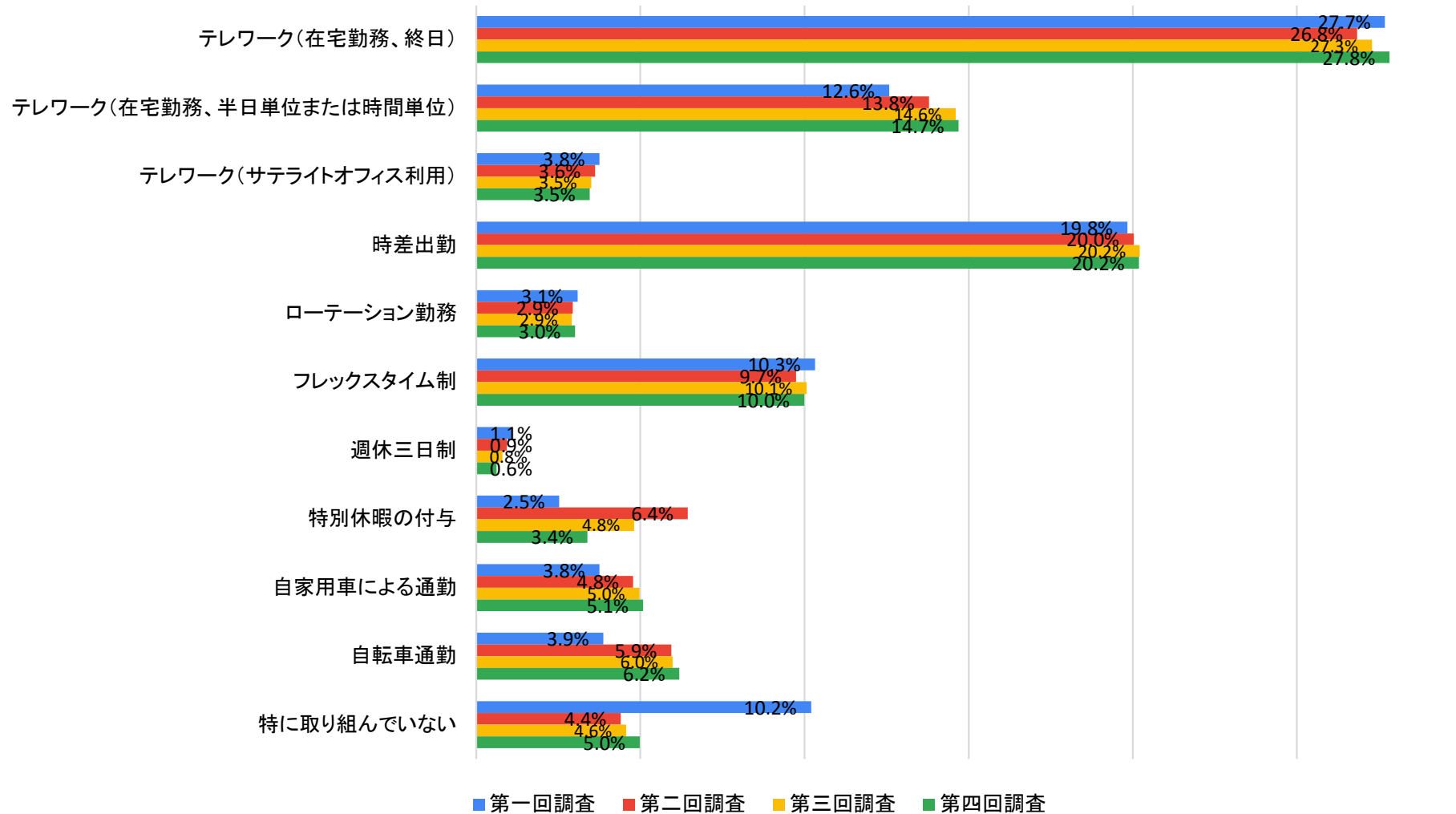


第一回調査n=1,640、第二回調査n=1,621、第三回調査n=1,362、第四回調査n=1,209

回答企業の企業規模は全期間を通じて29人以下が最も多く、半数以上を占めた。
以下30~99人、99~299人、300人以上となる。

■ Q1：時差Biz・テレワークに関する取組の実施状況

・〇月に貴社が実施した取組内容をお伺いします。（複数回答）



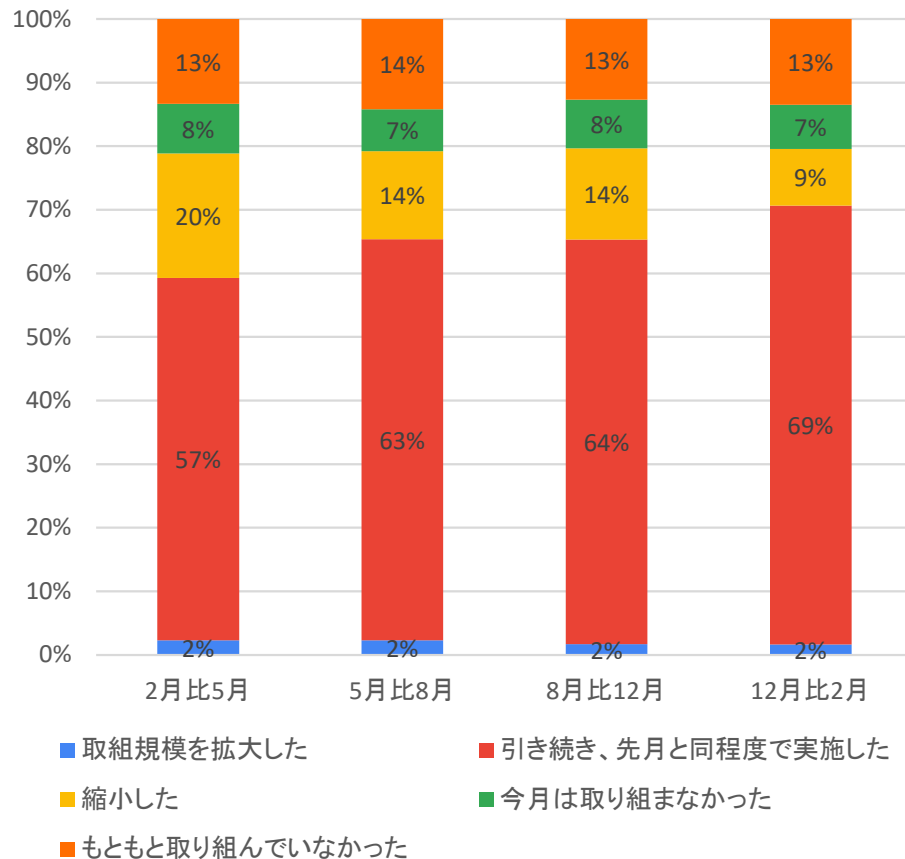
「在宅勤務」「時差出勤」を実施した企業が多く、全体の傾向に大きな変化はない。
テレワークについては、半日単位または時間単位を実施する企業が増加している。

* 各回答の構成率を見るため回答総数を母数とした。第一回調査n=1,640、第二回調査n=1,621、第三回調査n=1,362、第四回調査n=1,209

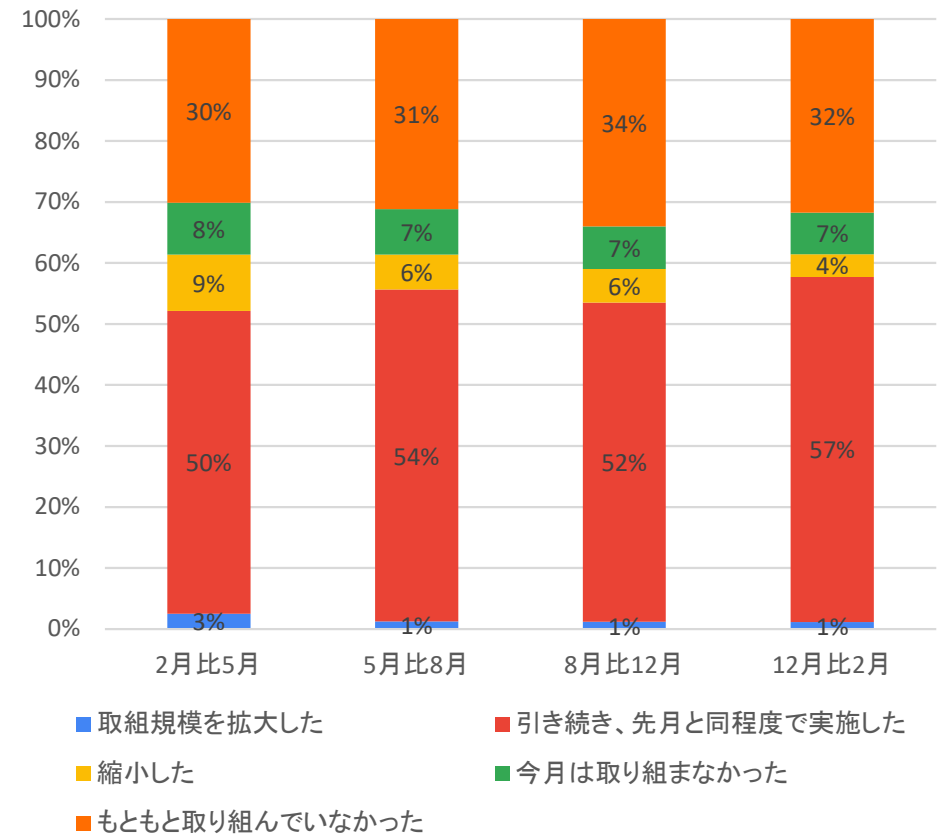
■Q2：テレワーク・時差出勤の取組規模の変化

・〇月と比較した●月の取組規模の変化をお伺いします。

テレワーク



時差出勤

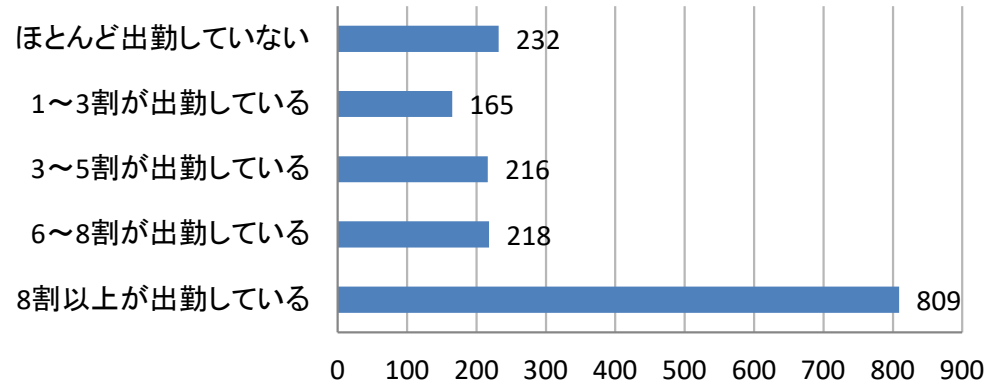


「引き続き、先月と同程度で実施した」の割合が一番多く、全体の傾向に大きな変化はない。
 第二回調査以降、「取組規模を縮小した」回答の割合が減少し、「同程度で実施した」が増加傾向にある。

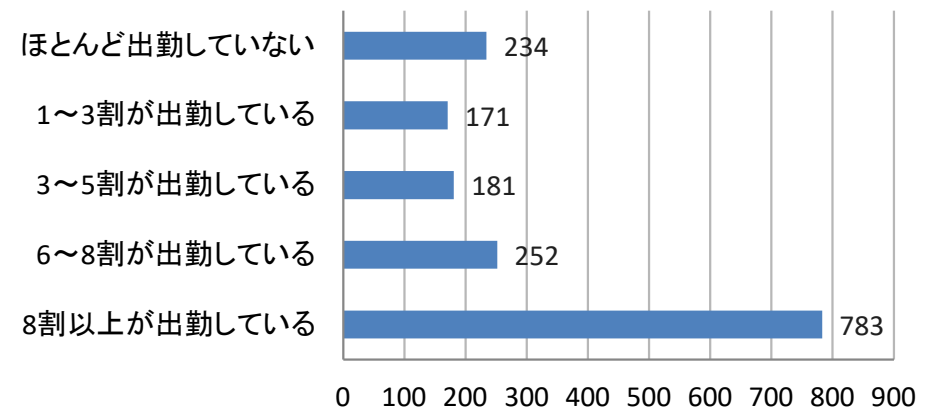
■ Q4：出社している従業員の割合

・ 貴社の従業員のうち、出社している従業員の割合についてお伺いします。

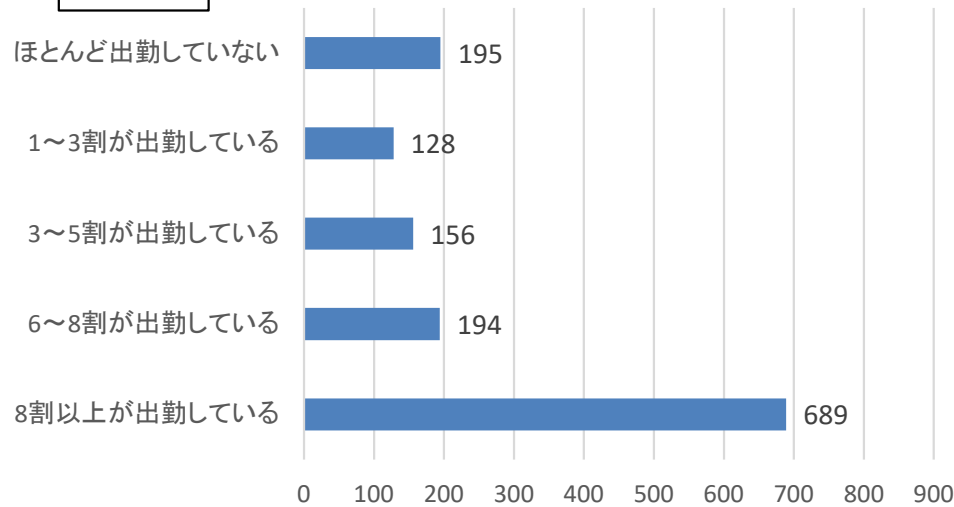
5月



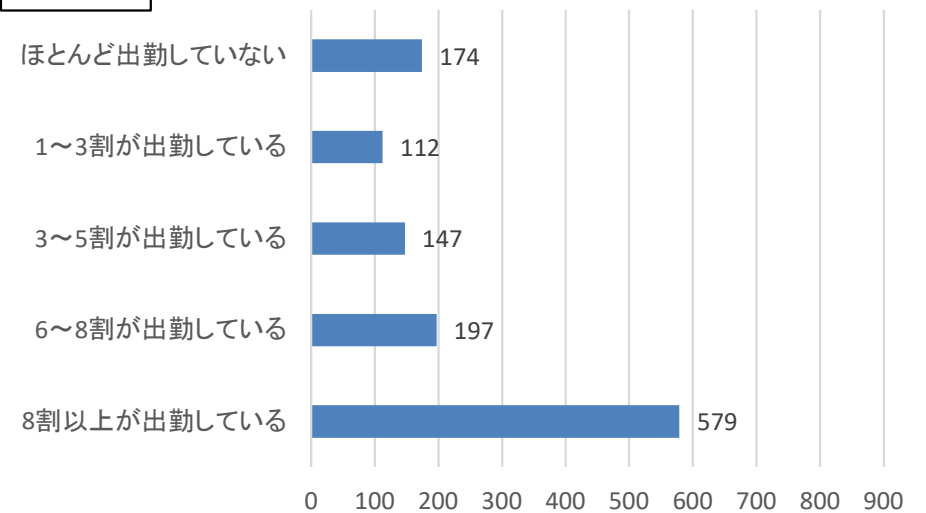
9月



1月



2月



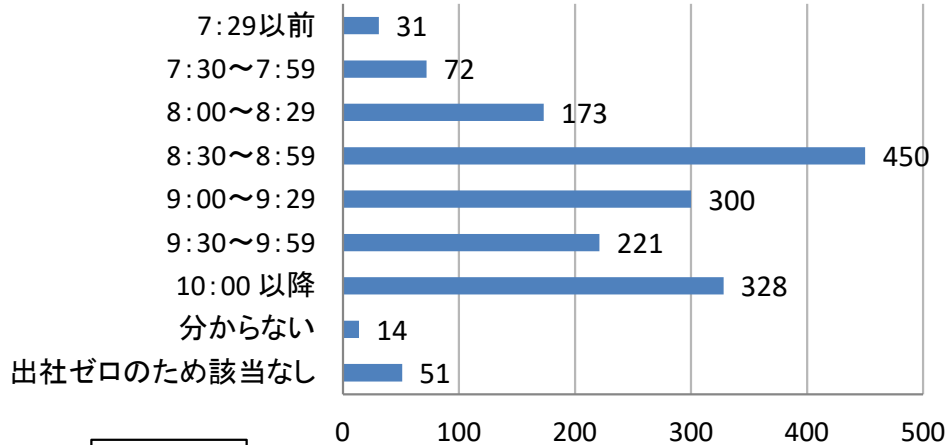
「8割以上が出勤している」との回答が毎回一番多く、全体の傾向に大きな変化はない。

■ Q5：最も出社人数が多い時間帯

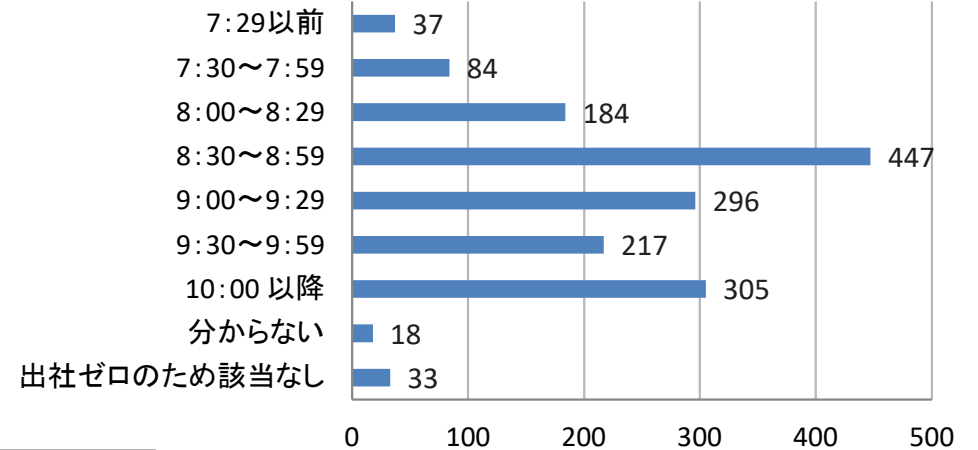
・事業所全体で、最も従業員の出社する人数が多い時間帯をお伺いします。

5月 n=1,640 9月 n=1,621 1月 n=1,362 2月 n=1,209

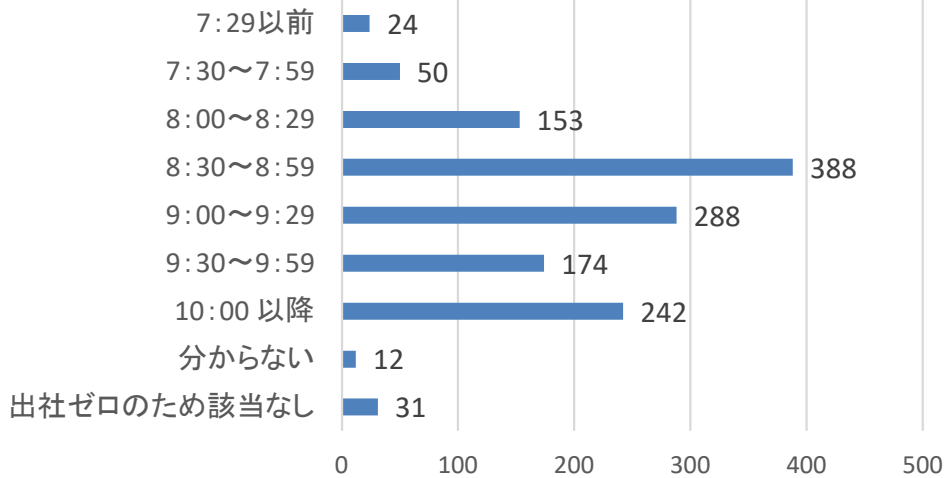
5月



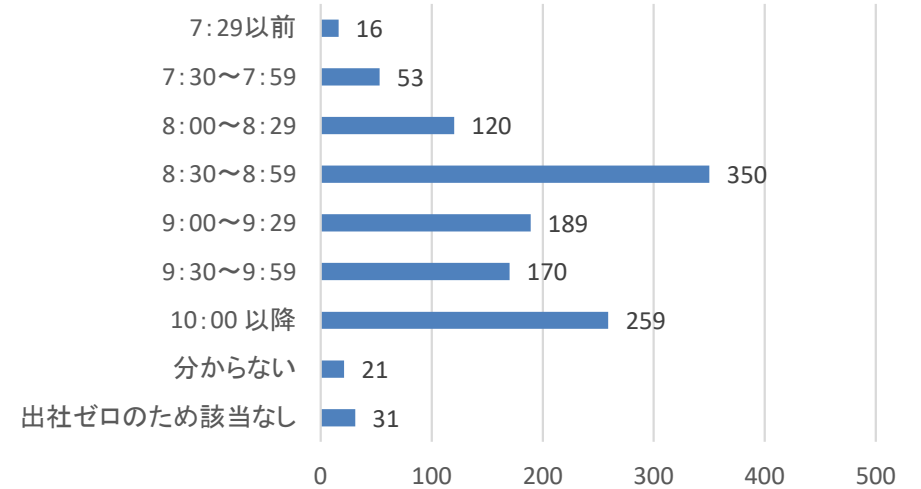
9月



1月



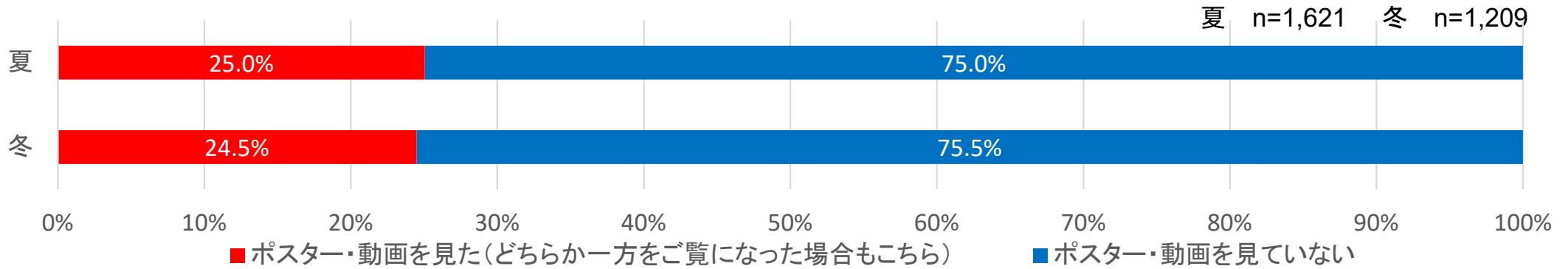
2月



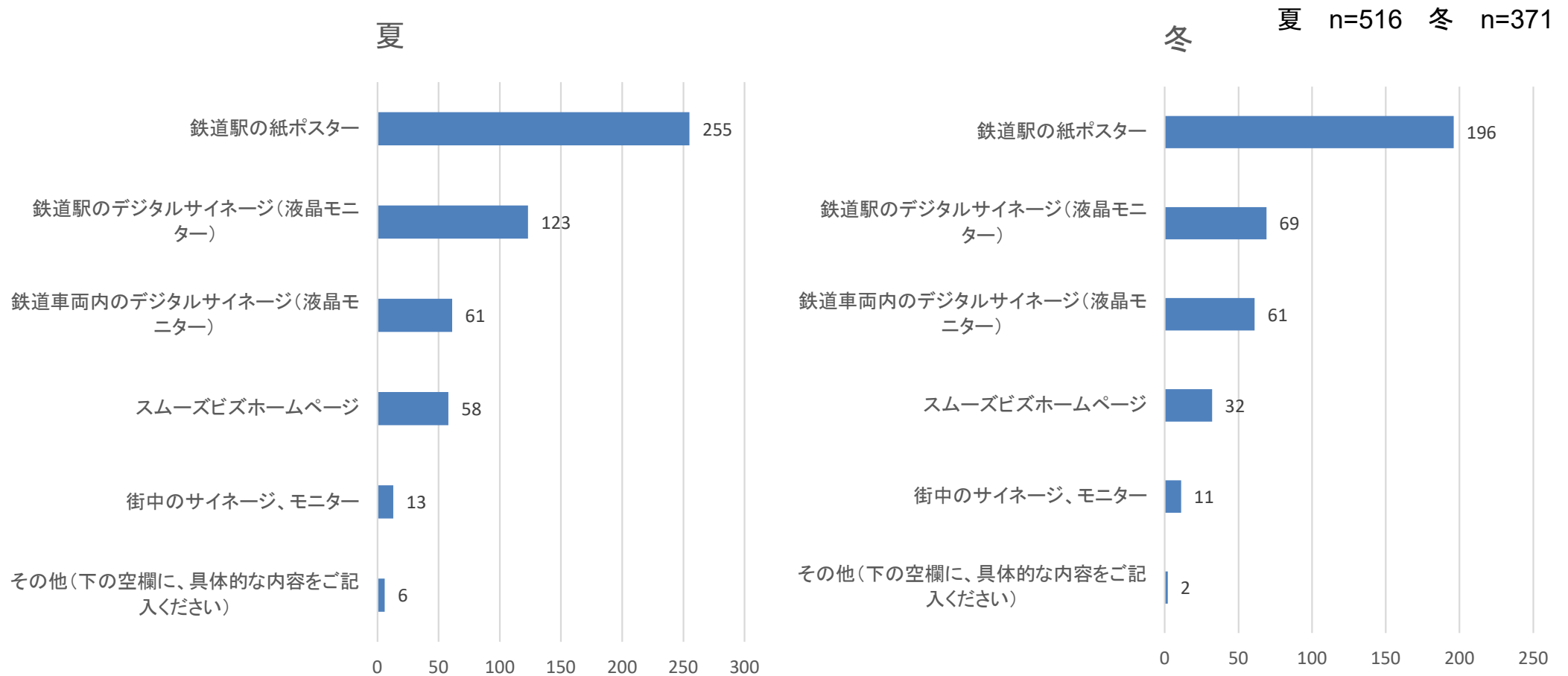
全期間を通じて「8:30～8:59」「9:00～9:29」の割合が高く、「10:00以降」の割合が多い企業も一定数見られる。

■ Q6, 7: スムーズビズPR動画・オフピーク通勤の新ポスターの広報効果 第二回、第四回調査での設問

・ポスター、動画などの制作物をご覧になりましたか？



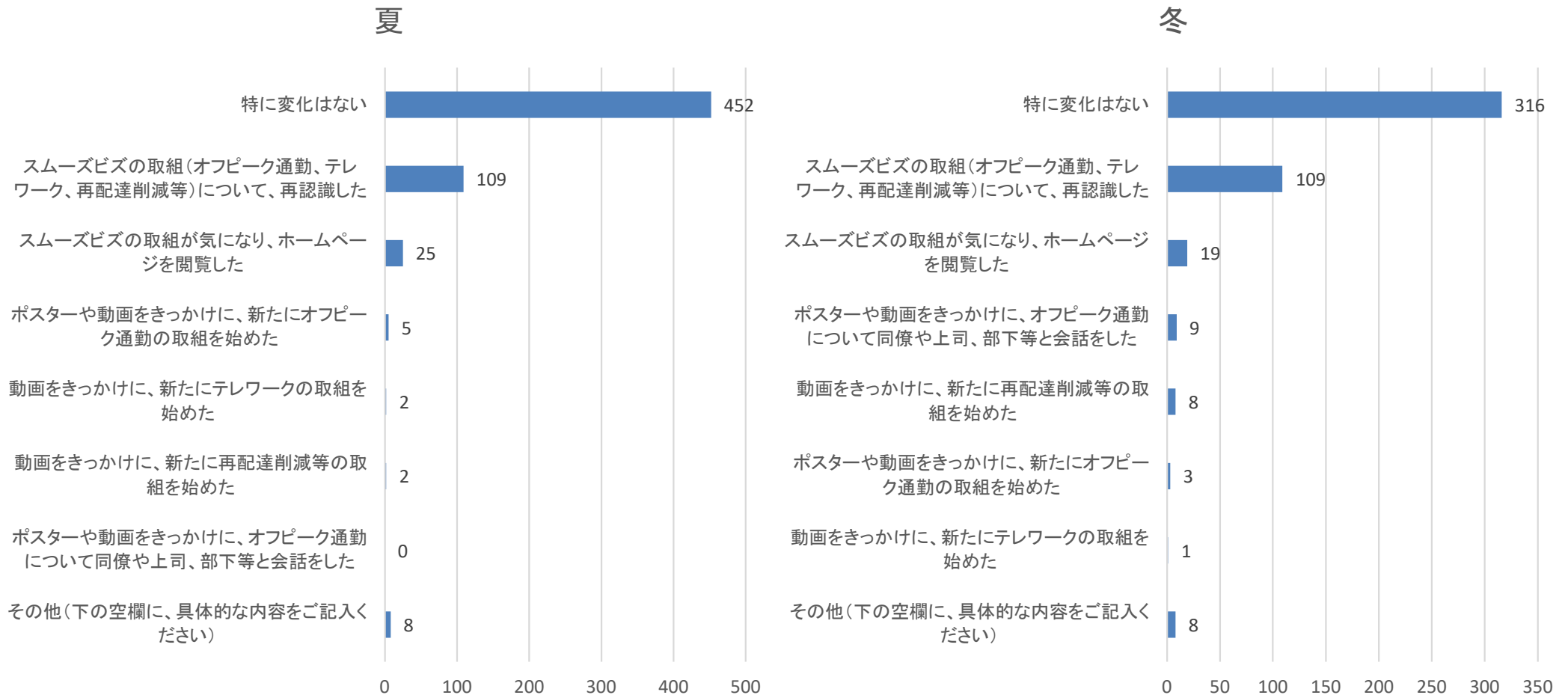
・ポスター、動画などの制作物をどのメディアでご覧になりましたか？



■ Q6, 7: スムーズビズPR動画・オフピーク通勤の新ポスターの広報効果 第二回、第四回調査での設問

・ポスター、動画をご覧になって以降、スムーズビズに関連する変化があったか

夏 n=603 冬 n=473



- ・制作物の認知率は昨年比（昨年2月実績18%）で上昇している。今年の夏と冬の間には、認知度に変化は無かった。
- ・夏、冬の広報共に、紙ポスターの認知度が高い傾向。